

加古川中流部緊急治水対策

滝見橋 開通

地域の皆様の暮らしを支える
安全で安心な橋として生まれ変わります。

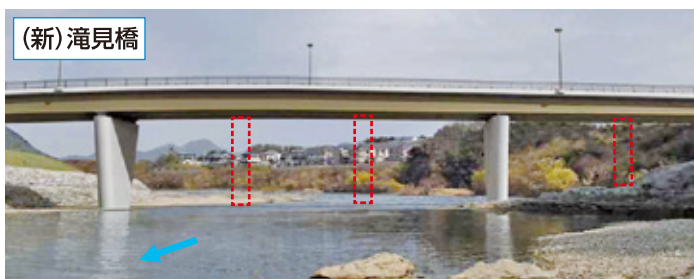


完成した(新)滝見橋(令和2年6月29日撮影)

(新)滝見橋のココがスゴイ!

洪水への安全性向上

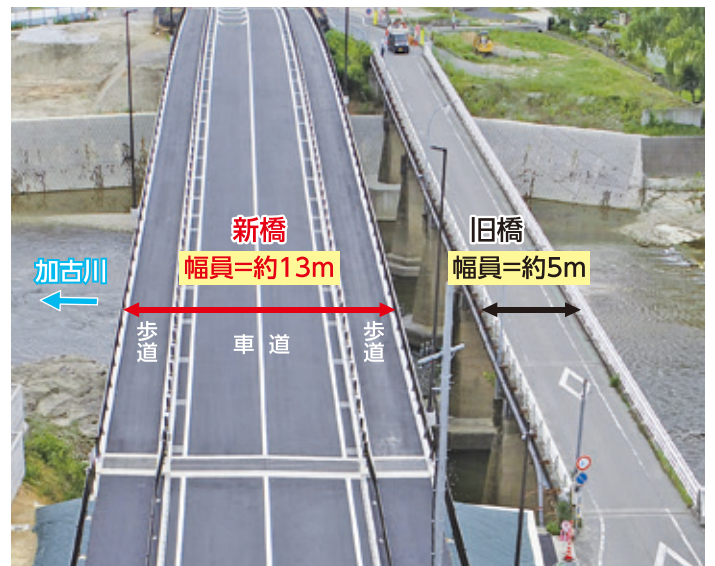
河川改修に合わせ、桁下高を約2~3m高くし、橋脚数を5本から2本に減らすことで加古川の流下能力を向上させます。



(新)滝見橋のココがスゴイ!

通行の安全性向上

幅員を約5mから約13mに拡幅し、両側に歩道を設置することで、より安全な通行を確保します。



[左側] (新)滝見橋 [右側] (旧)滝見橋



国土交通省 近畿地方整備局

姫路河川国道事務所

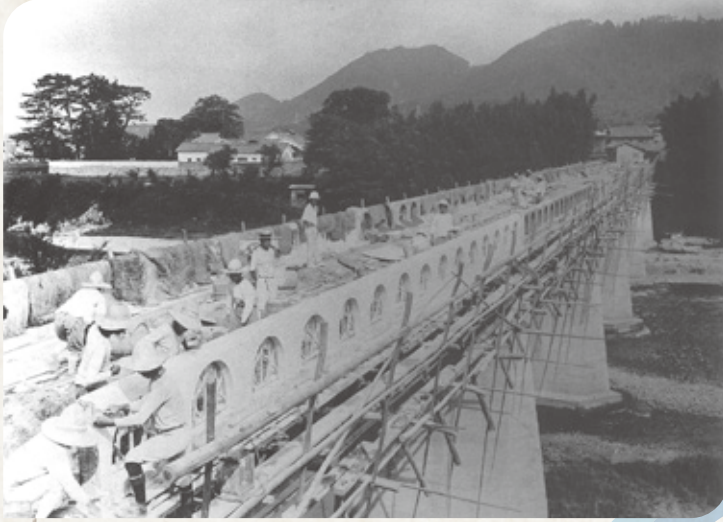


加東市

滝見橋の歩み

新町と上滝野の渡し舟

滝見橋が建設される以前は、加古川左岸の新町と右岸の上滝野間を渡し舟が往復していました。



滝見橋の誕生

滝見橋は昭和4年に完成しました。自動車の発達と増加という社会情勢に応じ、橋脚は鉄筋コンクリートで桁間を鉄橋で結んだとても丈夫な構造で建設されました。



くらしを支えた滝見橋

電話や上水道などが添架され、児童生徒の通学路にも指定された滝見橋は、滝野地域の重要な生活道路として、90年以上もの間、地域の人々のくらしを支えてきました。



生まれ変わる滝見橋

平成16年には台風第23号により滝見橋の周辺においても浸水被害が発生しました。橋の老朽化に加えて、この災害をきっかけに滝見橋架け替えの気運が高まり、平成28年度から架け替え工事に着手し、令和2年7月に完成しました。

新たな滝見橋

(新)滝見橋

(旧)滝見橋

